

惻隱之心

題字 惻隱之心 揮毫 愛南町立一本松小教頭 山本 雅貴 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会
〒790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@chime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 北郷中学校
- (3) ふるさとに生きる
- (4) (5) 特集「旅・たび」
- (6) (7) 日連教茨城大会印象記
- (8) ふるさとスケッチ
ローカルトピックス

学ぶ気持ちがあれば道は開ける



松山市立八坂小学校
元校長 芳野 安隆

現役時代、よくカラオケで指名されるとZARDの「負けないで」を歌ってました。坂井泉水さんの透き通るような声と歌唱力に魅了され、気持ちよく歌っていました。この曲は、今振り返ると私の人生と重なってくる部分があります。歌詞の「ふとした瞬間」や「幸せのときめき」は、私を支えてくれた多くの方々との出会いを思い出します。そしてサビでは「負けないで、もう少し」と人生を応援してくれます。

思い起こすと、やんちゃな私を温かく見守ってくれた保育園の園長先生、教職への憧れを抱かせてくれた小学校高学年の担任の先生、中学校を卒業したら父の経営する鉄工所を継ぐと決めていた私に、高校進学を父にお願いしてくれた中学3年の担任の先生がいました。父は、奨学金が受けられること、工業高校に行くことを条件に渋谷高校に行かせてくれました。工業高校は、私に合っていて勉強や実習も本当に楽しかったです。高校3年の夏、人生の転機は「ふとし

瞬間」に訪れました。深夜のラジオ番組「オールナイトニッポン」を聞いていた時、新聞配達をしながら大学で勉強できることを知り、父の反対を押し切りすぐに応募しました。大阪肥後橋の新聞店に住み込み、朝3時から折込と朝刊・夕刊配達と集金をこなしました。台風の日には雨風で新聞が飛ばされ、本社(梅田)に自転車で何度も取りに行きましたが、辛くも思いませんでした。その後、大阪教育大学5年課程に合格し、働きながら学ぶ道が開けました。6年間新聞配達をしながら、昼間は大阪高島屋の弁当店で働き、同大学のマンドリンクラブに所属し演奏会に出るなどして学生時代を楽しみました。教職に就いてからも、通信教育で学び、多くの友を得ました。

「負けないで ほらそこに ゴールは近づいてる」人生のゴールは誰にも分かりませんが、「人としての生き方や学び方を教えてくださった先輩の先生方・お世話になった多くの方々への「感謝」の気持ちを持ち続けたいと思います。これからも人生の荒波に立ち向かう子どもたちには、「学ぶ気持ち」を持ち続けて自分の夢を実現してほしいと願っています。

— 略 歴 —
(よしの・やすたか)

昭和53年4月 (旧) 中島町立天谷小学校教諭
以後、36年間 県内公立小学校で教諭・教頭・校長として在職
平成26年3月 松山市立八坂小学校定年退職
平成26年4月 育英第二幼稚園園長11年

聞 び 響 け

ここ数年の間に子どもたちの生活に加速度的に深く溶け込んでいくスマホやパソコン。しかし、深刻な問題が潜在している事実は見逃せない。例えば、視力低下や、1〜2千万人の予備軍がいると言われる「スマホ認知症」、スマホ依存で引き起こされる「スマホ脳」等の健康被害：▼これらの問題に気付いてはいるけれど、デジタル化の時代の流れに乗じてつい目を背けてしまいがちになっている。当然、現代社会でスマホやパソコンを有効に活用する能力を身に付けていくことは大事である。スマホやパソコンとの共存の仕方が大きな課題である▼「スマホ脳」「ゲーム脳」：最近「○○脳」という言葉をよく耳にするが、「運動脳」を注視したい。運動が脳の活性化に与えていることは、多くの研究で科学的にも実証されている。様々な健康被害は、発症する前の予防が肝心である。運動が、その予防に効果的なのは言うまでもない▼「人間の脳は走りながら進化した」とも言われている。健全な脳の健康を末永く保つために、自分に合った運動を見付け、継続していく能力も同時に養いたい。

ひとこと

定時退勤からはじめよう



愛媛県公立小中学校事務長会 会長 森川 幸子

「就業時間を意識して働く」

年度当初、自分の担当する共同実施地域の室員に向けた言葉です。限られた時間の中で仕事を終えることは容易ではありません。急な対応や予期せぬ調整事項等が発生し、なかなか計画通りに進まないのが現実です。

近年、学校を取り巻く環境は大きく変化しており、それに伴って学校事務の業務も年々多様化・複雑化しています。公会計化の推進、新給与システム、インターネットバンキング等、業務内容や手順が従来とは大きく異なり、より高度で専門的な対応が求められるようになりました。かつて手書きで書類作成をしてい

た頃よりも、デジタル化が進んだ現在の方が書類作成に時間が掛かっている現状は皮肉なものです。

また、教師を取り巻く環境整備特別部会の「学校と教師の業務の三分類」に見られるように、教員が本来の教育活動に専念できるような業務を見直す必要がある一方で、学校全体の業務は減るどころかむしろ増加傾向にあり、教職員に係る業務負担が増している面も否めません。

だからこそ、定時で業務を終えることを目指してほしいと考えます。限られた時間の中で業務を終えるためには、タスクの見える化、優先順位の適切な判断、短期・長期的なスケジュールリング等、効率的に業務を進める姿勢が求められます。試行錯誤しながらも効率化に取り組むことで、自身のスキルアップにもつながり、チーム学校の一員として、組織を支える役割も果たせるはずです。

まずは、心身ともに健康を保つためにも、「定時退勤」を意識し、余暇を生み出すことから始めてみませんか。
(松山市立雄新中学校事務長)

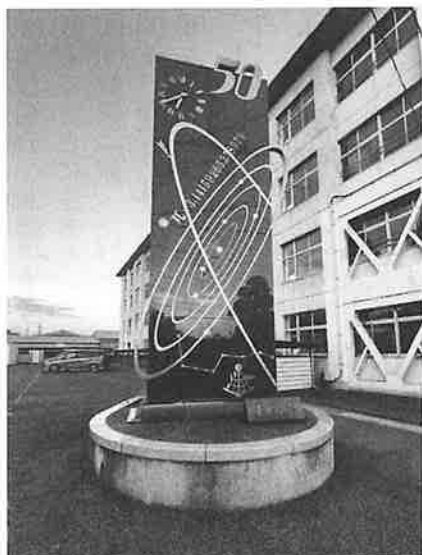
学校紹介



自然と仲間に囲まれる北郷中学校

こんにちは。今治市立北郷中学校です。私たちの学校は、波方と波止浜の二つの地域からなり、縄文時代から400年前に至るまで、波方は海に囲まれた島、波止浜は海の中でした。その後、江戸時代に池や塩田がつくられたことにより、海だったところは町になり、多くの人が暮らせるような土地になりました。本校が建っている場所も昔は塩田でした。今でも海に囲まれたこの北郷校区は、日本で一番船の多い「海運の町」として知られ、造船業がとても盛んです。

本校には、創立50周年の際に、記念として高さ6メートル程の「無限の塔」が設置されました。「無限の塔」には円周率が描かれており、生徒が無限に力を伸ばしてほしいという思いが込められています。



今治市立北郷中学校

す。また、「無限」には広大という意味だけでなく、宇宙に浮かぶ星のようにさまざまな色で生徒たちに輝いてほしいという意味もあります。正門をくぐってすぐのところにあるため、毎朝子どもたちは「無限の塔」を見て、1日をスタートさせています。

また、本校はあらゆる活動の中で、仲間とのつながりを大切にしています。運動会では、縦割り色別の応援合戦があり、3年生が中心となって盛り上げ、学年を超えて団結する姿が見られます。迫力のある応援合戦は、運動会の気迫を高め、生徒全員のやる気に火を付けてくれます。学習では、毎朝15分間の学習タイムの中で、クラス対抗の学力マッチを行って行っています。テスト範囲はあらかじめ指定されており、頑張った分だけ点数に表れる出題形式です。廊下には満点者やクラスの平均点を掲示し、クラスで高得点を目指すことで、協力し合い、切磋琢磨する姿勢が身に付いています。

海や山に囲まれ、自然豊かな場所です。暮らす北郷中生は、休日にも海や池で遊ぶことが多く、校区内を巡回していると釣竿を持って楽しそうに移動する子どもたちと遭遇します。豊かな自然とともに、地域や仲間とのつながりを感じながら、北郷中生は今日も明るく元気に学校生活を送っています。(養護教諭 徳永万里奈)

題字に寄せて

惻隠之心



愛南町立一本松小 教頭 山本 雅貴

「惻隠の心」は、いたましく同情する心ですが、相手の立場に立って物事を感じ、理解し、助けたいという気持ちを表す際にも使われることがあります。私は、相手の立場に立って相手を思いやる気持ちを忘れてはならないと考えています。しかし、これまでの自身の言動を振り返ると、自信をもってできていたとは言えません。だからこそ、人と相對する時にはこの言葉を忘れずにいたいと思っています。

ふるさとに生きる 種をまくように生きる



山本アツ子先生

訪問者

田中正之 (東温市立拝志小教頭)

暑さの厳しい7月の初旬、山本アツ子先生にお話を伺うため、東温市のご自宅を訪問させていただきました。生まれも東温、勤務した学校も全て東温という山本先生のこれまでの人生は、常に「誰かのため」という思いであふれていました。

は、時間ぴったりに終わったことを褒められたと笑顔で話してくださいました。当時の授業で使った手作りのペープサートを今でも大切に持っていて、道徳教育に対する思い入れの深さが伝わってきました。

子どもたちには、「挨拶をすること、何でも食べることに、背筋を伸ばすこと」を

「惻隠の心は仁の端なり」は孟子の四端説の一つで、やがては人の最高の徳である仁に通ずると…。人として人を思いやることのできる人間になりたいと思っています。



常に言い続けてきたという山本先生。「子どもに言うところの三つのことをずっと実践し続けているそうです。自分で決めたルールを守り続けている先生の姿から、子どもたちが得る学びは大きかったのではないのでしょうか。

感激の美に出会う 道後温泉駅から歩いて5分、閑静な住宅街に佇む美術館です。日本近代画壇を代表する画家たちの優品、日本画では横山大観・加山又造、洋画では小磯良平を中心とした絵画、そしてロダンの大理石彫刻《ファウナ(森の妖精)》など500点を所蔵しています。四季に合わせた展示で、地域の皆さまをはじめ道後を訪れる方々に心豊かなひとときを提供いたします。



上村 松園(汐くみの図)

手作りの「感謝状」が宝物になっていくそうです。三 誰かのために 「自分は、今までにたくさんの人から大事にしていたのだ」と語る山本先生。感謝の心もちなながら、自分のことよりも誰かのために行動する姿が、周りの人を引きつけるのではないのでしょうか。山本先生からお話を伺うことで、私自身、たくさんの方のエネルギーをいただきました。

山本アツ子先生(97歳) (東温市北方在住)

〒790-0848 愛媛県松山市道後湯野町4-42 TEL.089-946-5678 www.seki.co.jp/mus/

セキ美術館 SEKI ART GALLERY

■営業日:水曜日-日曜日および祝日 ■営業時間:午前10時-午後5時(入館は閉館の30分前まで)

特集 旅・たび

北方領土との遭遇



四国中央支部
OB
石村 拓朗

現職時代、夏の北海道へ2週間ほどの旅をした時の話：というより、「日本百名山」の完登を目指す私の登山旅行だった。

新潟港発のフェリーに軽四自動車連れ乗って小樽に上陸。まずは百名山の最北の山「利尻富士」を目指して北海道西海岸沿いを北上し、稚内からフェリー利用で利尻島の鴛泊（おしどまり）港へ到着する。

キャンプ場でテント泊をして、「利尻富士」に登頂した。苦闘5時間。北の洋上に目をやった瞬間、誰もいない山頂で思わず「おおっ!!」と、うなり声を上げてしまった。真北の方向に、ぼんやりと島影が見える。あれはまぎれもない、方角と距離からして『樺太』である。「昼気楼現象」のせいか、海岸付近の建造物らしきものが肉眼で白く視認できる。我を忘れてしばらく眺めていたが、飽きることはない。予期せぬことを目撃し、感動でドクンドクン、しばしば胸の高鳴りが収まらなかつた。

翌日は、利尻島から稚内に戻り、オホーツク海沿岸を知床半島へと愛

車を走らせる。山麓でテント泊し、知床半島の付け根にある「羅臼岳」へ登頂する予定だ。

かなりの時間をかけて、ようやく登頂。その瞬間、私は驚く光景を目にした。

東の方向の眼下、ガスの晴れた洋上に、黒っぽく見える山が4座ほど。富士山を鋭くしたような火山形状だった。「国後島と択捉島だ！」そう思った。またもや興奮を抑えることができず、しばし見とれていた。

そこに、その日初めて出会う登山者が登頂してきた。地元の方で、羅臼岳には頻りに登っているという方だったので、早速質問した。「どこまで国後で、どこからが択捉ですか?」「いいえ、今見えている全てが国後ですよ。島というけれど、国後島は千葉県と同じくらい面積なのでですよ。」と、解説していただいた。驚いた。青くガスに煙るこの島のすごさが伝わってきた。

「北方領土」に、偶然に出会えた。しかも二度も!理由は自分でも分からなかつたが、すごいものに出会えた。予期せぬ出会い!!山には多くの感動があるものだ。

*日本は現在、樺太の南半分のみ領有権を放棄している。

*日本は戦後一貫して、国後島・択捉島・歯舞諸島・色丹島(北方4島)については領有権を主張している。あれは、日本領土だ!行きたい!!

삼세번 (サムセボン)



新居浜市立泉川小
教諭
吉岡 桜

夏の熱海旅行、台風で断念。夏の島根旅行また台風で断念。遠方の旅行になると、なぜか天気と相性が合わず...

しかしついに!三度目の正直で、夏の韓国旅行に行くことができました。初めての韓国、友達と事前に行きたい所リストを作り、詰め詰めの計画を立てて準備万端!

1日目。韓国初の食事は、明洞餃子。具材がギョツと詰まっています。屋台では、トッポギとクアバギ。本場のトッポギは、とてもとても辛くて驚きました。韓国プリもすっかり楽しんで、1日目終了。

2日目。念願のロンドンベーグルを食べるために、早起きしてベーグルがおいしいと評判のお店をアプリで調べ、無事予約成功。外観だけでなく店内もおしゃれで、焼き立てのベーグルの味にうっとり。おすすりは、クリームチーズ&ニラのベーグルでした!ベーグルを食した後は、景福宮や雑貨屋巡りなどをたくさん歩いてショッピング。夜に食べたセリのサムギョプサルはもうおいしすぎました。

3日目。韓国1号店のスタバでしかできないと言われている、名前を刻印できるタンブラー作りに挑戦。芸能人御用達ユッケビビンバのお店や、高さ13メートルの巨大な本棚が

ヒマラヤ スポーツお徳なご案内
組合員様向けチケットを精算時にご提示いただくと店頭表示価格から5%OFFになります。
5%OFF
HIMARAYA SPORTS

教育の振興を目指す! 日教弘の3大事業
教育振興事業 福祉事業 共済事業
公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

第76回日本連合教育会 研究大会茨城大会印象記



茨城大会大会誌より

◆第1分科会 【学習指導】



松山市立石井北小
校長
小笠原陽二

第1分科会では、「令和の日本型学校教育」の構築を目指す教育課程の編成、創意あるカリキュラム・マネジメントの実践を通して「一」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。

まず、滋賀県教育会から「わにっ子こども防災リーダーになろう」体験を通して学び、周囲に発信する防災学習「一」を研究主題として、大津市立和邇小学校の取組が発表された。6年生の総合的な学習の時間を中心に防災学習を実施し、防災ハザードマップ作り、防

災グッズ作り、避難生活シミュレーション、炊き出し訓練、防災イベント・キャンプの開催など、地域と連携しながら活動する中で、児童自身が「自分事としての災害」と考え、発信する工夫がある内容であった。

次に、茨城県教育会から「守谷市全体で取り組む守谷型学校教育改革」「形を変えて意識を変えよう」教育活動の推進を通して「一」を研究主題として、守谷市立けやき台中学校の取組が発表された。教育の質の向上と働き方改革の両立を目指し、守谷型カリキュラム・マネジメントと部活動改革の二本柱の研究であった。市内統一の日課、夏季休業日の短縮、二期制への切り替え等を行うとともに、部活動時間の統一、シーズン制の導入等により、教材研究や生徒と向き合う時間の確保を目指した内容であった。

研究協議では、参加された方々の学校における教育課程の編成上の工夫を紹介し合いながら、その重要性を再認識することができた。今後、持続可能な社会の創り手となる児童生徒のためのよりよい教育を提供する、創意あるカリキュラム・マネジメントを大切にしていきたい。

◆第4分科会 【道徳教育】



小松市立小
校長
西条市立小
越智 洋子

第4分科会では、「自他を尊重し、共に力を合わせ生きようとする心」を育む道徳教育をテーマに二つの提案発表があった。

まず、愛媛県教育会からは松前町立北伊予小学校の取組が紹介された。研究主題は「豊かにかかわり、よりよく生きようとする児童の育成」であり、主体的・対話的で深い学びを実現するために、教材の分析や思考ツールを活用した発問の工夫が組織的に研究されていた。さらに、郷土の特色を基にした地域教材の開発、授業と家庭との連携など、児童の成長を多面的に支える姿勢が伝わった。学校全体で一体となり、児童に学びを広げようとする取組に強い印象を受けた。

続いて、茨城県教育会からは筑西市立竹島小学校の実践が発表された。研究主題は「自他を尊重し、共に力を合わせ生きようとする心」を育む道徳教育であった。話し合い活動を重視し、ねらいを明確にした発問や児童の考えを見通した構想シートを用いて、授業が組み立てられていた。さらに、話し合いで用いるキーワードを掲示して意識化することで、児童の対話を広げ、考えを深める工夫があっ

た。全校行事を軸に、道徳と他教科を関連付ける実践も示され、学校全体で心の教育に取り組む姿勢を感じ取った。

全体協議や助言では、児童が学びを自分事として受け止められる工夫の必要性、心を揺さぶる発問や切り返しの在り方、学びを次につなげる振り返りや評価の工夫が確認された。これらは今後の実践に不可欠であると実感した。記念講演でも、これからの社会を担う子どもに必要な協調性や倫理性を育み、人間性の形成に寄与する道徳教育の重要性が語られた。心の教育を実践する重みと責任を痛感した。

◆第5分科会 【生徒指導】



小倉市立朝倉小
校長
今治市立
菅 洋二

第5分科会では、「一人ひとりを大切にしたい『チーム学校』で取り組む生徒指導の推進」を研究協議題として、二つの提案がなされた。

山口県教育会からは、誰もが安心できる居場所づくりを目指し、ステップアップルーム(SUR)の運用に関する発表があった。SURは、文科省「COCOLOプラン」を受け、令和5年度に県内22の学校に設置され、専属のサポート教員が配置されている。SURでは、生徒が安心できるよう、円卓やソ

フアーが置かれ、スポーツや天体観測会などの活動を楽しみながら相互の連帯感を高めている。また、不登校を予防するため、SCと連携し、命の教育やカウンセリング、保護者と共に取り組む体験活動なども実施している。これらの活動により、不登校生徒が減少し、SURを卒業した高校生からのサポートも得られるまでになった。

茨城県教育会からは、日常や社会の課題を自分たちで解決しようとする生徒を育てるための取組についての発表があった。古河市立三和中学校では、「学年担当制」を取り入れ、複数の教員が入れ替わりながら各学級を担当し、連携して支援しており、生徒の主体性だけでなく、若手教員の育成にも効果を上げている。また、生徒会を中心として校則や制服を見直したことで、LGBTQの観点からも多様性を認め合う生活スタイルを築き上げている。

全体協議では、研究発表を基に校内指導体制の在り方について意見交換した。各県の取組は様々であるが、担任一人がすべてを背負うのではなく、学校の枠を超え、保護者や関係機関、行政と緊密に連携した「チーム学校」を推進していくことの重要性を確認し合った。

◆第9分科会
【青年教師の会】



宇和島市立成妙小
教諭 藤原 雄大

第9分科会では、「すべての子どもたちの可能性を引き出す学びの充実」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。

始めに、長崎県教育委員会から「統計的な問題解決のよさに気付く、データや分析結果を生活や学習に活用しようとする児童の育成」を研究主題として、西海市立西海東小学校の取組が発表された。算数科「ぼうグラフと表」の単元に、統計的探究プロセスを取り入れ、児童による単元計画作成、プロセスの提示、プロセスの振り返りの三つの実践を行っていた。この実践を通じて、児童が統計的な問題解決のよさを実感でき、自らデータを活用し、生活や学習に役立てようとする態度を養うことができていた。

祝
受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

大塚 正義様	88歳	元東予市立国安小学校校長	西条市
森中 正道様	88歳	元広見町立広見中学校校長	鬼北町

次に、茨城県教育委員会から「児童生徒の主体的な学びと可能性を引き出す教育実践の在り方」を研究主題として、那珂市小中一貫教育の取組が発表された。縦のつながりでは、小

中の学びの連続性を意識して授業構成をしたり、小中連携を日常化し、交流学习を行ったりしている。それにより、子どもたちは、学びの見通しをもつことができ、目的意識をもって取り組むことができている。また、教科横断的な視点における学びについても実践を深めていた。横のつながりを意識することで、子どもたちは多面的・多角的に事象を捉えられるようになり、課題解決に向けた視野を広げることにつながっていた。

研究協議では、多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫ある教育活動やICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実践について話し合った。社会の急速な変化に伴い、生活環境や価値観など、子どもたちも多様化している。子どもたち一人ひとりの豊かな人生のために、自身の授業観をアップデートさせて、子どもたちの可能性を引き出していきたい。

◆第10分科会
【学校・家庭・地域社会の連携】



四国中央教育会
会長 森実 純夫

第10分科会では、「コミュニティ・スクールから地域づくりへ」を研究協議題として、二つの提案発表が行われた。初めに、栃木県連合教育会から

「魅力ある学校づくり・活力ある地域づくりを目指して」小中一貫コミュニティスクールでふるさとに誇りを持つ人材が育つための工夫」を研究主題に、栃木市立大平南小学校の取組が発表された。学校と家庭・地域が学び合う仕組みづくりのため、同一中学校区内の学校運営協議会の連携や地域コーディネーターの支援等により、中学校ブロック全体で地域の人材を確保し、地域の方々を通してふるさとを学び、自信をもって活動し夢を語る児童が育まれていた。義務教育9年間を見通したうえで、学校・家庭・地域が一体となって組織的・継続的に子どもたちの学びを支援する体制を構築していることは、今後のコミュニティスクールの在り方について、参考になるものである。

次に、茨城県教育会から「学校・家庭・地域がともに学び育ち合うコミュニティスクールと地域学校協働を一体的に推進した地域づくりを目指して」を研究主題に、牛久市立おくの義務教育学校の取組が発表された。校内に地域活動室を設けて、地域住民が自由に集うことができ、子どもの活動に携わることができ、場所として、また、放課後には自主学習室として開放し、子どもたちの居場所となるだけでなく、地域の方との交流の場になつているのが特徴的であった。二つの学校とも、学校と地域がうまくつながるように、学校・家庭・地域が子どもたちの学びや成長のビジョンを共有していることを強く感じるものであった。

ふるさとスケッチ

No.492

白滝公園



大洲市教育会 OB 白石 清美

白滝公園は肱川河口から約6km上流にあり、自宅から車で数分のところにあります。

小学生の頃は、全校生が年に一度公園まで歩き、滝の絵を描いていました。その頃、紅葉シーズンが



やって来ると、公園近くの各駅停車の伊予白滝駅に急行列車が停止してしました。

公園は、七つの美しい滝と紅葉の見事さで「日本の紅葉百選」に選定されており、新緑や万緑など四季折々の美しさがあり、詩人野口雨情も絶賛。冬の白滝公園もいいものです。

ご冥福をお祈りします

井上 徹様	95歳	松山市ひばりヶ丘九二	7・7・30
大内 康夫様	80歳	松山市余戸東二丁目二二三	7・8・7
近藤 菊美様	98歳	西条市周布七七一	7・9・5
向井 正孝様	89歳	伊予市上吾川三三二	7・9・6
高島 悦子様	94歳	八幡浜市保内町宮内四八八一	7・9・16

令和7年度

教育講演会

参加費無料

演題 スクリーンの裏側から学ぶ愛媛の魅力

【講師紹介】(主な役職)

NPO法人いよココロザシ大学 学長
NPO法人ジャパン・フィルムコミッション理事・四国ブロック長
総務省地域力創造アドバイザー
松山東雲女子大学非常勤講師



- 1971年東京都出身 高校卒業後渡米 映画制作等を学び帰国
 - 2002~2008年 愛媛県観光課勤務
 - 2008~2011年 松山市観光産業振興課勤務
 - 2011年 「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げた市民大学『いよココロザシ大学』設立
- 「世界の中心で、愛をさけぶ」「HERO」「がんばっていきまっしょい(TV版・アニメ版)」「坂の上の雲」「真夏の方程式」「リパース」「パスカヴィル家の犬」「離婚しようよ」「笑うマトリョーシカ」「トリリオンゲーム」など600本以上の映画、映像作品の撮影支援に携わる。

講師 泉谷昇先生

後援予定 愛媛県教育委員会・松山市教育委員会・愛媛県小中学校長会
愛媛県教育研究協議会・公益財団法人日本教育公務員弘済会愛媛支部

日時 令和7年11月25日(火)14:30~16:00(受付開始14:00)

会場 エスポワール愛媛文教会館大ホール(2階)
松山市祝谷町1-5-33 道後温泉駅より徒歩8分

定員 250名

問合せ 申込先 公益財団法人愛媛県教育会(TEL089-945-2511)
申込締切:11月4日(火)

参加申込書を、メールに添付して下記アドレスへお申し込みください。
申込書は別添データを利用、もしくは愛媛県教育会ホームページよりダウンロードしてください。メールアドレス:info@ehime-kyouikukai.jp

備考 駐車場の関係で、できるだけ公共の交通機関や二輪車をご利用ください。

ローカル・ヒックス

史跡 近藤篤山旧邸

西条市小松町にある近藤篤山旧邸は、「伊予聖人」とたたえられる近藤篤山が、文化3年(1806)から亡くなる弘化3年(1846)まで40年に渡って暮らした屋敷です。篤山は、尾藤二洲に師事したのち昌平塾で学び、二洲のふるさと川之江で塾を開きます。やがて、篤山の教えのすばらしさは小松藩七代藩主、一柳

頼親公へと届き、幾度にも渡る招へいへの要請と二洲のすすめを受けて、享和3年(1803)に藩校「養正館」の賓師として迎えられます。小松に招かれたあと、篤山は、両親の住む大生院と小松を往復する日々が続きます。しかし、これは大きな負担であったため、小松藩が屋敷を用意し、一家で小松に移ります。その住まいが、今に残る近藤篤山旧邸です。



(愛媛文教月報編集協力委員 谷口 晃)